

1. 件 名：日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明について
2. 日 時：令和2年8月13日 13:30～16:45
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓（テレビ会議システムによる出席）
4. 出席者
原子力規制庁 緊急事案対策室
宮地防災専門官、落防災専門官、前澤専門職、和田専門職
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全核セキュリティ統括部危機管理課担当 他3名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和2年9月8日に予定されている核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の計画概要について、前回（8月4日）の面談を踏まえ、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容

原子力規制庁より、訓練項目について、防災業務計画との整理をしっかりとすること、計画にあたっては、訓練目的から何を達成するのか（達成目標）、そのために何を検証するのか（検証項目）、その検証はどこの訓練で実施するのかを明確にするよう指摘した。

日本原子力研究開発機構から、指摘を踏まえて訓練計画を見直しするとの回答があった。

今後、訓練実施に向けて原子力規制庁と日本原子力研究開発機構の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

また、原子力規制庁より、原子力事業者防災業務計画に規定する施設敷地緊急事態に該当するEALの一部について原子力災害対策指針との不整合が見受けられることから、不整合が生じた原因を整理した上で、修正について今後説明するよう求めた。

日本原子力研究開発機構から、不整合が生じた原因を整理し、修正について説明するとのことだった。

6. その他

配布資料：あり

資料1 核燃料サイクル工学研究所防災訓練事前面談資料(日本原子力
研究開発機構)